インターネットが社会に及ぼす影響

熊谷洸介 | 16S21015 | 2016年4月29日

インターネットを利用した学習とそれに伴う社会的影響について



カレッジ＆キャリア・スキルズa

インターネットが民間に普及して２０年強経とうとしいる今日、ネットは日々進化しつつ様々な分野で利用されるようになった。とりわけ、ここ最近教育分野での利用が、質、量ともに著しい発展を遂げている。今回は、従来の対面ベースの学習方法と比較しつつインターネットを利用した学習方法についての持論を述べる。

インターネットを利用した学習の特徴として２点あげる。まず１点目としてインターネットの最大の特徴である時間と空間を超えて情報を伝えられる点である。一度教材を作り、公開していれば、インターネットに接続できる環境という障害さえ乗り越えれば、全世界で"いつでも、なんどでも"学習することができる。２点目としては、優れた（利用者がわかりやすい）教材が残るという点である。私見ではあるが、わかりにくいコンテンツは自然に淘汰されわかりやすいコンテンツが残る傾向があるように思われる。以上２点の具体的な例をあげるとすれば、私も利用している、全世界で毎月数百万～数千万人が利用していると言われている非営利の教育ウェブサイトであるカーン・アカデミーをあげたい。このサイトでは様々な領域の学問を動画ベースで解説している。このサイトの優れている点として３点をあげる。１点目として、教え方の秀逸さをあげる。音声と板書だけというシンプルな作り方であるが、「複雑なことをわかりやすく教える」ことに重点が置かれている。２点目として、コンテンツの体系化をあげる。学ぶべき内容を段階ごとに整理し、10分程度で教えられる「ひと口サイズ」まで切り刻んで体系化している、３点目として、学習者の理解度を把握し適切なコンテンツを推奨する点をあげる。カーン・アカデミーでは、設問が多く設置されえおり、学習者の理解度を正確に把握し、適切なコンテンツをピンポイントで学習できる。以上の点から、インターネット学習はとても優れていると私は主張する。とは言うものの、きめ細かい指導をするにはネットのコンテンツではまだまだ不十分であると感じる。学習者の理解度を正確に把握し適切に指導するには、ネット学習ではできない非言語コミュニケーションなどを駆使する従来の教育方法が優れているであろう。

　以上の考えをまとめると、インターネットを利用した学習は従来の学習方法に比べて劣っている点もあるが、勝っている面も多くあると私は主張する。この先さらに、インターネットを利用した学習が広く普及し学習者に適切に支援できる教材が増えていけば、人類の飛躍に対して多くの貢献をインターネットは与えるだろう。